

絵

本

の

世

界

へ

おはなし会で使えるブックリスト 小学校1・2年生編



山梨県立図書館

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

## は じ め に

当館では、子どもの読書活動の実践に役立つガイドブックを作成しています。

平成29年3月には、赤ちゃんに読み聞かせやおはなし会をやってみたいと考えている方に向けて「絵本の世界へ おはなし会で使えるブックリスト 0～2歳児編」を、平成30年2月にはこの続編として、3歳から6歳児を対象にした「絵本の世界へ おはなし会で使えるブックリスト 3～6歳児編」を作成しました。

今回はこの「絵本の世界へ」の続編で、小学1・2年生を対象にした、おはなし会におすすめの絵本やわらべうたなどを紹介します。

読み聞かせやおはなし会は、子どもと本をつなげます。みなさんも実践してみませんか。

# 目次

はじめに	.....	1
1 おすすめの絵本	.....	3
2 わらべうた	.....	13
3 参考図書	.....	14

はじめて読み聞かせを行う方は、「3～6歳児編」に掲載されている、「読み聞かせの基本」を参考にしてください。冊子のPDFが当館HPからご覧いただけます。

([https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo\\_shien/ehonnosekaihe3-6.pdf](https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/ehonnosekaihe3-6.pdf))



\*各紹介図書についている★は、絵本のテーマです。

テーマ：命・学校・言葉・生活・食べ物・動物・友だち・乗り物・不思議・冒険・昔話

\*絵本は書名の50音順に掲載されています。

# 1 おすすめの絵本



★動物

## 『アンディとらいおん』

ジェームズ・ドーハーティ／ぶんとえ  
むらおか はなこ／やく 福音館書店 1961年

アンディは図書館でライオンの本を借りてくると夢中で読んでいます。頭の中はライオンでいっぱい。そんなある日、道で前足に太いトゲが刺さったライオンに出会い、アンディはトゲをぬいてあげました。まもなく、サーカスが街にやってきました。



★昔話

## 『王さまと九人のきょうだい』

君島久子／訳 赤羽末吉／絵 岩波書店  
1969年

子どもが欲しいと願う老夫婦がいました。おばあさんは寂しくて池のほとりで涙をこぼすと、池の中から白い髪の老人が現れ、一粒飲むと子どもが生まれるという丸薬を九つ渡されました。早速一粒飲んで待ちますが、一年経っても生まれず、残りをいっぺんに飲んでしまいました。すると……。



★動物

## 『おさととぼうしうり』

エズフィール・スロボドキーナ／さく・え  
まつおかきょうこ／やく 福音館書店 1970年

帽子売りは頭にたくさんの帽子を乗せて、売り歩きます。長いこと歩いた後、大きな木の下で昼寝をし、目を覚ますと、木の上のサルたちに帽子を全部取られてしまいました。帽子を取り戻すことはできるのでしょうか？サルたちの仕草が楽しい一冊です。



★生活

### 『おじさんのかさ』

佐野洋子／作・絵 講談社 1992年

おじさんは立派な傘を持っていますが、傘が濡れてしまうので雨が降っても差しません。ところがある日、傘を差して楽しそうに歌っている子どもたちを見て、おじさんもついに傘を開きました。「あめが ふったら ポンポロロン」と一緒に歌いたくなります。



★不思議

### 『おしゃべりなたまごやき』

寺村輝夫／作 長新太／画 福音館書店 1972年

王様は、にわとりがぎゅうぎゅうに詰め込まれた小屋を見つけ、扉の鍵を開けてしまったので、城中は大騒ぎ。自分が開けたとわからないように王様は鶏小屋の鍵を外に捨てますが、その様子を一羽の鶏が見ていて……。軽妙なやりとりと鮮やかな色合いが楽しい絵本です。



★動物

### 『がちょうのペチューニア』

ロジャー・デュボワザン／作  
まつおか きょうこ／訳 富山房 1999年

ペチューニアはある日、草むらに本が落ちていたのを見つけて拾いました。翼の下に本を持っていると、賢くなったような気がします。得意になったペチューニアの首は、どんどん伸びていきました。そして他の動物たちに、色々なアドバイスをしますが……。



★昔話

### 『かにむかし』

木下順二／文 清水崑／絵 岩波書店  
1976年

柿の種を拾ったカニが、庭に種を蒔きました。「はよう芽をだせかきのたね、ださんと、はさみで、ほじりだすぞ」とせかしながら、世話をします。柿がようやく実ったので、カニは喜んで木に登りますが、上手くとれず落ちてしまいます。そこへ猿がやってきました。



★動物

### 『かもさんおとおり』

ロバート・マックロスキー／ぶんとうえ  
わたなべしげお／やく 福音館書店 1965年

カモの夫婦が巣づくりのため街にやってきました。あちこち探して川の水辺に巣をつくり、8匹の子ガモが生まれ、すくすくと成長します。カモの母子は父親の待つ公園に向かいますが、激しく車が往来する大通りを横切らなくてはなりません。無事に辿りつけるでしょうか。



★動物

### 『からすのパンやさん』

加古里子／絵と文 偕成社 1973年

いずみがもりのカラスのパンやさんに、4羽の赤ちゃんが生まれました。カラスの両親は黒色ですが、生まれた4羽はみんな違った色をしています。それでも4羽を優しく大事に育てました。子育てに忙しくなったパンやさんは時々パンをこがしたり、半焼きパンを作ったりで、お客さんが減ってしまいました。



★動物

### 『きつねのホイティ』

シビル・ウェッタシンハ／さく

まつおかきょうこ／やく 福音館書店 1994年

きつねのホイティは、旅人に変装してアンゴウさんの家を訪ね、ご馳走にありつきます。アンゴウさんを騙したとホイティは得意そうに歌を歌いながら森に帰って行きました。しかし、アンゴウさんは、人間に変装しているホイティがおかしくて、わざと騙されたふりをしていたのです。数日するとホイティはマンゴウさんの家を訪ね……。



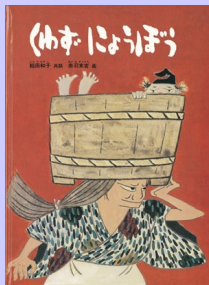
★生活

### 『きょうはなんのひ？』

瀬田 貞二／作 林 明子／絵 福音館書店

1979年

ある朝、まみこは家じゅうのあちこちに手紙を置いて学校へ出かけました。最初の手紙を見つけたお母さんは手紙の指示どおりに、次の手紙を探していきます。最後に手紙の先頭の文字を重ねると、メッセージが現れました。さて今日は何の日だったのでしょか？



★昔話

### 『くわすにようぼう』

稲田和子／再話 赤羽末吉／画 福音館書店

1980年

欲張りな男の所に、良く働き飯を食わない美しい女房が来ました。男は米が貯まると喜びますが、実は女房は、山奥に住む鬼婆でした。正体がばれた鬼婆は、男を風呂桶に放り込み、担いで山の住処へ走ります。男は食べられてしまうのでしょうか。

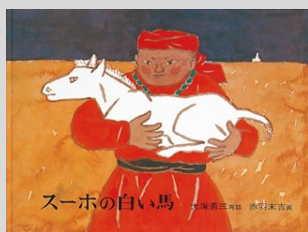


★昔話

### 『さんねん峠』

李錦玉／作 朴民宜／絵 岩崎書店 1981年

「そこで転ぶと三年しか生きられない」という言い伝えのあるさんねん峠で、ある日、おじいさんがうっかり転んでしまいました。ショックで寝込んでしまったおじいさんに、水車屋のトルトリが見舞いにきて、病気を治す方法があると云います。それは……。朝鮮の楽しい昔話です。



★昔話

### 『スーホの白い馬』

大塚勇三／再話 赤羽末吉／画 福音館書店 1967年

スーホはモンゴルの草原で暮らす、貧しい羊飼いの少年です。ある日、スーホは生まれたばかりの白い馬を助けました。その馬は立派に成長し、スーホと白馬は殿様の開いた競馬に参加しますが……。 「馬頭琴」の由来を伝える民話を、赤羽末吉の絵が彩ります。



★昔話・食べ物

### 『せかいいちおいしいスープ』

マーシャ・ブラウン／文・絵 こみやゆう／訳 岩波書店 2010年

3人のお腹を空かせた兵隊が、村にやってきて食べ物を分けてほしいと言いました。村の人たちはいろいろな理由をつけて、断ります。3人の兵隊は何やら相談し、村人に「いまから、石のスूपをつくることにします」と言いました。いったいどんなスूपが出来るのでしょうか？





★生活

### 『ちいさいおうち』

バーbara・アール・アリソン／ぶんとうえい  
いしいもこ／やく 岩波書店 1965年

静かな田舎に建っていたちいさいおうちは、自然に囲まれて幸せに暮らしていました。しかし、周囲は開発が進み、ちいさいおうちは荒れてしまいます。季節もわからない街中で、寂しく過ごしていたちいさいおうちですが……。自然を描いた鮮やかな絵が印象的です。



★冒険

### 『チムとゆうかんなせんちょうさん』

エドワード・アーディゾーニ／さく  
せたていじ／やく 福音館書店 2001年

海岸の家に住むチムは船乗りになりたくてたまらず、誰にも内緒で大きな汽船に乗り込みます。ところがある夜、船が座礁し、チムと船長が荒れる海に取り残されてしまいました。チムの運命は？好奇心旺盛なチムの大冒険に、思わず引き込まれます。



★生活・学校

### 『時計つくりのジョニー』

エドワード・アーディゾーニ／作  
あべきみこ／訳 こぐま社 1998年

ジョニーは、手先が大変器用な小さな男の子です。ある日、大時計つくり挑戦しようと思いますが、両親にも先生にも相手にされません。しかし、スザンナだけはジョニーの時計つくりを応援してくれます。ものづくりの楽しさを、ジョニーと共に味わえる作品です。

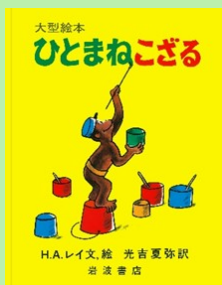


★生活

『はちうえはぼくにまかせて』

ジーン・シオン／さく マーガレット・ブロイ  
・グレアム／え もり ひさし／やく  
ペンギン社 1981年

夏休みにどこへも行く予定がないトミーは、旅行する近所の人たちの鉢植えを預かることにしました。植物はどんどん伸びて、お父さんは迷惑顔。トミーは研究熱心で上手に手入れをし、植物は以前より生き生きと育ちました。夏休みが終わって戻ってきた近所の人は大喜び。



★動物

『ひとまねこざる』

H.A.レイ／文、絵 光吉夏弥／訳 岩波書店  
1983年

知りたがりやのさるのジョージは、ある日、動物園を抜け出します。バスの屋根に飛び乗り街に出ると、初めて見るものばかりです。レストランでは皿洗い、高いビルでは窓ふきをしますが、行く先々で騒動を起こします。好奇心旺盛なジョージの様子がかわいらしい絵本です。



★学校

『びゅんびゅんごまがまわったら』

宮川ひろ／作 林明子／絵 童心社 1982年

小学校の遊び場で、こうすけはケガをしてしまいました。以来、遊び場は封鎖されてしまいました。子どもたちは遊び場を復活させてほしいと校長先生に頼みますが、校長先生は、代わりに子どもたちにある宿題を出します。その宿題とは？なつかしい遊びがたくさん詰まったお話です。



★生活

### 『ゆうかななアイリーン』

ウィリアム・スタイグ／作 おがわえつこ／訳  
らんか社 1988年

風邪をひいたお母さんのかわりに、仕立てたドレスをお屋敷に届けることになったアイリーン。外は吹雪で、大きな洋服箱を抱えて、歩くのもやっとです。風でドレスが飛ばされてしまい、足を挫いたアイリーンは、雪に埋まってしまう。彼女はいったいどうなるのでしょうか。



★生活

### 『よあけ』

ユリー・シュルヴィッツ／作・画  
瀬田貞二／訳 福音館書店 1977年

静まり返った夜、山に囲まれた湖畔の木の下の、おじいさんと孫が寝ています。少しずつ光が差し、動物が動き始めます。夜が明けていく様子が、詩的な短い言葉と色の濃淡を使った美しい水彩画で表現されています。静かで穏やかな時間の流れが感じられる一冊です。



★昔話・動物

### 『ランパンパン』

マギー・ダフ／さいわ ホセ・アルエゴ／え  
アリアヌ・ドウィ／え 山口文生／やく  
評論社 1989年

「ランパンパン、ランパンパン、ランパンパンパンパン。」王さまに女房を連れ去られたクロドリが女房を連れ戻すため、クルミで作った太鼓を鳴らしながら宮殿を目指します。途中、猫とアリの群れと木の枝と川が仲間になり、王さまに戦いを挑みます。

- 『あくたれラルフ』 ★動物  
ジャック・ガントス／さく ニコール・ルーベル／え いしいももこ／やく  
福音館書店 1982年
- 『いつもちこくのおとこのこ  
——ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー』 ★学校  
ジョン・バーニンガム／さく たにかわしゅんたろう／やく あかね書房 1988年
- 『おかえし』 ★動物  
村山桂子／さく 織茂恭子／え 福音館書店 1989年
- 『おだんごスープ』 ★食べ物  
角野栄子／文 市川里美／絵 偕成社 1997年
- 『おだんごばん』 ★昔話  
せたていじ／やく わきたかず／え 福音館書店 1966年
- 『おふろばをそらいろにぬりたいな』 ★不思議  
ルース・クラウド／文 モーリス・センダック／絵 大岡信／訳 岩波書店  
1979年
- 『かえるがみえる』 ★言葉  
まつおかきょうこ／さく 馬場のぼる／え こぐま社 1975年
- 『きこりとおおかみ』 ★昔話  
やまぐちともこ／さいわ ほりうちせいいち／え 福音館書店 1977年
- 『げんきなマドレーヌ』 ★学校  
ルドウィッヒ・ベーメルマンズ／作・画 瀬田貞二訳 福音館書店 1972年
- 『こぶじいさま』 ★昔話  
松居直／再話 赤羽末吉／画 福音館書店 1980年
- 『これはのみのびこ』 ★言葉  
谷川俊太郎／作 和田誠／絵 サンリード 1979年
- 『こんとあき』 ★友だち  
林明子／さく 福音館書店 1989年
- 『しずくのぼうけん』 ★生活  
マリア・テルリコフスカ／さく ボフダン・ブテンコ／え  
うちだりさこ／やく 福音館書店 1969年

- 『たあんきぽおんきたんころりん』 ★言葉  
長谷川摂子／文 降矢なな／絵 福音館書店 2006年
- 『ねこのくにのおきゃくさま』 ★動物  
シビル・ウェッタシンハ／さく まつおかきょうこ／やく 福音館書店 1996年
- 『はたらきもののじょせつしゃけいていー』 ★乗り物  
ばーじにあ・りー・ばーとん／ぶんとえ いいしい・ももこ／やく  
福音館書店 1978年
- 『はなのすきなうし』 ★動物  
マンロー・リーフ／おはなし ロバート・ローソン／え 光吉夏弥／やく  
岩波書店 1954年
- 『はろるとむらさきのくれよん』 ★不思議  
クロケット・ジョンソン／作 岸田衿子／訳 文化出版局 1972年
- 『ふしぎなたけのこ』 ★不思議  
松野正子／さく 瀬川康男／え 福音館書店 1966年
- 『ふるやのもり』 ★昔話  
瀬田貞二／再話 田島征三／絵 福音館書店 1969年
- 『ペレのあたらしいふく』 ★生活  
エルサ・ベスコフ／さく・え おのでらゆりこ／やく 福音館書店 1976年
- 『マイク・マリガンとスチーム・ショベル』 ★乗り物  
バージニア・リー・バートン／ぶんとえ いいしいももこ／やく 童話館出版  
1995年
- 『ゆかいなかえる』 ★動物  
ジュリエット・ケベシュ／ぶん・え いいしいももこ／やく 福音館書店 1964年
- 『ロバのシルベスターとまほうの小石』 ★不思議  
ウィリアム・スタイグ／さく せたていじ／やく 評論社 2006年
- 『わすれられえないおくりもの』 ★命  
スーザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／やく 評論社 1986年
- 『ワニのライルがやってきた』 ★動物  
バーナード・ウェーバー／さく 小杉佐恵子／やく 大日本図書 1984年

## 2 わらべうた

わらべうたや手遊び歌をいれると、子どもたちはリラックスしたり、次のお話を聞く切り替えができます。

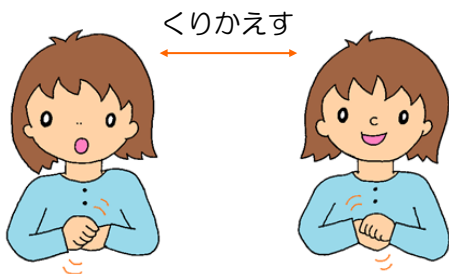
### ♪おてぶしてぶし

大人が手のひらをふくらませて、両手を合わせ、中にどんぐり（硬貨やビー玉などでもできます）を入れます。歌いながら両手を左右に振り、最後に両手を離し、どちらの手にどんぐりが入っているかを子どもたちに当ててもらいます。子どもたち自身でもできます。

#### ①おてぶし てぶし

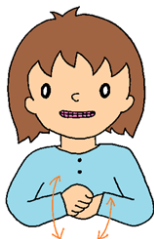
てぶしの なかに  
へびのなまやけ  
かえるのさしみ  
いっちょばこ やるから  
まるめて おくれ

両手を左右に振ります



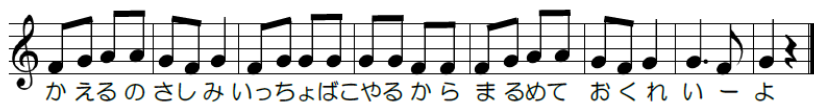
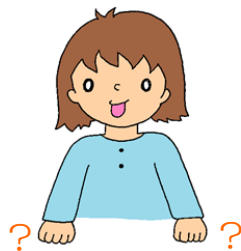
#### ②いー

両手を上下に  
振ります



#### ③よ

両手を離して、ど  
ちらの手に、どん  
ぐりが入っている  
かを聞きます。



### 3 参考図書

読み聞かせやおはなし会の実践、絵本の選び方などに役立つ図書をご紹介します。

#### 読み聞かせやおはなし会、絵本選びの本

##### 『今、この本を子どもの手に』

東京子ども図書館／編 東京子ども図書館 2015年

##### 『絵本の庭へ』

東京子ども図書館／編 東京子ども図書館 2012年

##### 『えほんのせかいこどものせかい』

松岡享子／著 文藝春秋 2017年

##### 『おはなし会プログラム PART2

##### 季節別・年齢別厳選プログラム131本収録』

「この本読んで!」編集部／編集 NPO読書サポート 2014年

##### 『おやちれんがすすめるよみきかせ絵本250

##### 低学年向・2003～2012』

親子読書地域文庫全国連絡会／編 絵本塾出版 2013年

##### 『読み聞かせわくわくハンドブック 家庭から学校まで』

代田知子／著 一声社 2001年

#### わらべうたの本

##### 『心育てのわらべうた 乳児から小学生まで年齢別指導・教材集』

佐藤 志美子／著 ひとなる書房 1996年)

##### 『にほんのわらべうた』1～4

近藤信子／著 柳生弦一郎／絵 福音館書店 2001年

##### 『わらべうたと子ども』

木村はるみ／著 蔵田友子／著 古今社 2001年



発行日 平成31年2月15日

編集・発行

**山梨県立図書館**

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

〒400-0024

甲府市北口2丁目8-1

TEL 055-255-1040

FAX 055-255-1042

URL <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

この冊子に関するお問い合わせ先  
山梨県子ども読書支援センター（山梨県立図書館内）

\*当館ホームページ上からもこの冊子を見ることができます。

\*本冊子は個人的な目的に使用する以外で複写・転載することはお控えください。